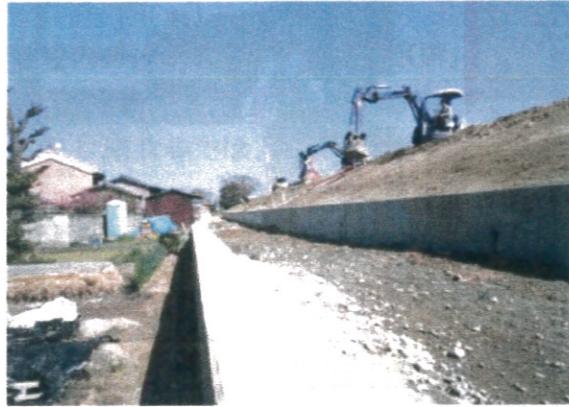


広報紙

斑鳩めやす NO.10



道

地域の「道」は時とともに変化しています。ひと昔前は、道幅も狭く地道で、雨が降れば水たまりができ、人や車が避けて通るような状況でした。

現在、地域の生活道路は、拡幅、舗装などが施され、特に緊急時や災害時に有効とされています。

しかし、一方では交通事故が多発するなか安全施設の設置や交通マナー対策が必要です。

「道」は、その地域に住む人の良好な環境を維持し、地域生活の利便性を高めながら、次世代に引き継ぐことが大切です。

今季の内容

2、みんなで支える地域活動

町民体育大会・三代川愛護会・クリーンキャンペーン

3、地域を守る!

助宗さんが伝えたもの

4、今季の話題

目安の大根美人を訪ねて
編集後記

「道」は、その地域の将来の発展に繋がる骨格となるからです。

2014
夏季号

発行人

会長

清水 一久

74-0230

編集人

評議員

みんなで支える地域活動

皆さんの応援と団結で 優勝した綱引き!

今回は、恒例の「町民体育大会」、「三代川愛護会による美化活動」さらに、クリーンキャンペーンについて皆さんの活動の様様を紹介します。



副町長から、綱引き優勝の授与!



早朝より、大変ご苦労様です



今回、久しぶりの体育大会で皆さんが積極的に参加し、力強い応援で見事な成績を収められました。大変お疲れ様でした。

三代川愛護会の 皆さんの美化活動!



周辺地域の皆さんが三代川に「平戸ツツジ」を植栽。毎年、河川の美化活動を実施されています。暑い中、お疲れ様でした。



すばらしい演技ですね!

地域周辺を みんなで清掃!



5月31日(土)早朝より目安公民館に集合。クリーンキャンペーンを実施。地域内の清掃を実施。大変お疲れ様でした。



2

早朝より目安公民館に集合!



地域の外周を清掃!



親子で参加して
いただきました。

地域を守る!

助宗さんが伝えたもの

融念寺境内の片隅にひっそりと「断痕碑」と刻まれた「助宗(すけそう)」の石碑があります。

毎年、5月に融念寺では、助宗の遺徳を偲んで法要が営まれています。

今回、「助宗(杉岡助三郎)」に焦点をあて、「地域を守る大切さ」を次世代につなぐため改めて紹介をします。



斑鳩町史には、享保三年・十年・十三年に大洪水に関する記録の一部が詳細に紹介されています。

江戸中期に度重なる洪水の影響で荒地が広がる!

今から約二百九十年前の江戸時代の中期に幾度となく大和川が氾濫しています。

大庄屋助宗の行政改革!

特に、当時の目安地域周辺では、度重なる洪水の影響で荒地が広範囲に及んでいたと言われています。

享保7年(1722年)

8月降り続く大雨で、目安地区の南方を東西に流れる大和川が決壊。堤防の北側に広がる目安の村をはじめ服部、小吉田、稲葉、五百井の地域が、見渡すかぎり湖のようになり稲穂が風になびきはじめたところで、水はひくこともなかった。当時、この地域を治めていた大庄屋(当時、庄屋の長として十数村を統括していた村役人)の助宗(杉岡助三郎)が、事態を見かね大雨で浸水した5つの村の中央に排水路(三代川)を掘り、田畑に滞留している雨水を集め地域の下流にある大和川へと流したこと

により、地域の農地農民が救われました。

現在であれば、国、県、斑鳩町が費用を分担して行う公共事業を独自で実施したことから助宗の土地財産が投じられたと考えます。また、この治水工事は、川の氾濫を防ぐとともに灌漑にも役立つことから農地の改良にも尽力したことになりました。

完工後、助宗の地元の目安村はもとより稲葉車瀬村・小吉田村・五百井村・服部の五ヶ村で米の増収が実現。以後、百五十年以上にわたって、豊作をもたらしたとの記録があります。しかし、助三郎は、私財を投げ打って工事をしたものの、幕府に工事の許可を得ることなく実施したため、断罪に処せられました。当時は、罪人扱いされたことで、特に、遺徳を偲ぶ

人もなかったが明治三十八年四月五ヶ村の庄屋をはじめ、地域の有志の協力のもと助宗の功労による業績を称えた「断痕碑」を建立されました。

助宗の心を引き継ぐ 三代川愛護会

現在、周辺地域の十一の自治会と7つの農家組合からなる「三代川愛護会」の方々が助宗の心を引き継ぎ三代川の環境を守るため「平戸ツツジ」の植栽等河川の美化運動等に取り組まれています。

「地域を守る」大切さを 学び伝える

助宗が後世に生きる私たちに残したのは、命をかけて断行した三代川の事業ですが、この恩恵を受けた地域として



「地域を守る」大切さを学び伝えることではないでしょうか。

今季の話題

目安の大根美人を訪ねて

奈良には、私たちの知らない言い伝えや昔話、偉人が成した業績などの



「むかしばなし」

がたくさんあります。

先日、斑鳩町役場から目安自治会会長に連絡がありました。

実は、奈良県の「広報広聴課広報紙係」から、『奈良の昔ばなし』について取材をお願いしたいとのことでした。

県の広報紙係は、毎月県民だよりを発行するなか『奈良の昔ばなし』の紙面づくりのため、地域に足を運び取材をされています。

今回、目安に伝わる

「目安の大根美人」についての取材を受けました。

6月24日融念寺で澤田住職をはじめ目安の歴史に精通した上田喜通さん、民生委員の清水良子さん、清水会長が出席しました。県の吉田和美係長と文筆家の山崎しげ子さんから取材がありました。

取材内容は、斑鳩町における目安の位置づけやむかし、春日神社の南側大和川沿いに松並木が存在し、その松を法隆寺の松ノ馬場の松並木に移植されたことや、また、地名の由来や地域の「ふるさとの村祭り」などの話がありました。

今回、主題の「目安の大根美人」については、従来、目安において伝え

られていないのが現状ですが、澤田住職は、過去に先代の住職から「大根美人」の話聞いたとのこと。目安では、昔から大根畑と呼ばれていた畑があり大根や芋などをたくさん収穫していたとのこと。

8月号の「県民だより」に、奈良のむかしばなし「目安の大根美人」が掲載されますのでお楽しみに！

「奈良テレビで放送」

◎取材後、奈良テレビから連絡があり、テレビ番組の取材を受けました。



◆8月9日 夜9時～放送!

◆8月23日 夜9時～再放送!

編集後記



私は、ここ目安に移り住んで十五年目になります。昔ながらの風習を大切に残しているすばらしい村ですが、時として現在の便利な生活に慣れている世代には、大変だと感じる事もあるものです。それでも互いに支え合いながら年令を重ねていつか、他では得ることのない何かを与えてくれるだろうと感じています。子供達も、このすばらしい環境の恩恵を受けながら、四恩（国・父母・世間・仏）に報いる人間に成長してくれると願っています。

9組 森本 弥栄子 記

